


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立烏城高等学校		
実践者等	太田重成	実践日	令和3年7月～
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	校務（校内研修、業務引継）		
対象生徒（学年等）	教職員		
単元名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	Chromebook（スクリーンキャプチャ機能）、YouTube		
実践の概要（ねらい等）	校内研修、業務の引継をオンデマンド動画にてアーカイブ化することにより、業務負担の軽減と改善を図った。		
実践の内容			
<p>[ねらい]</p> <p>動画コンテンツを作成する際、従来はChromebookで画面録画機能を使用するために拡張アプリの「Screencastify」を使用する事例が多かったが、無料版では10分の録画時間制限があったり、ウォーターマークが挿入されたりと使いづらい部分があった。しかし、ChromeOSのアップデートによりChromebookに画面録画機能が備わったため、これを授業動画作成だけでなく、校内研修や校務においても活用することを図った。</p> <p>(1) 外部に公開する公式チャンネル(TVの放送局のようなもの、作成した動画コンテンツを一括管理できる)は校内管理者が作成できるアカウントにて作成。校内向けのチャンネルは管理者アカウントにてチャンネルを作成し、チャンネル権限の付与によって権限を付与されたアカウントからであれば簡単に動画のアップロード等を可能とした。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>⇒権限を付与することでアカウントを切り替える（ログインする）ことなく、YouTubeの画面から簡単にチャンネル（動画を配信する放送局のようなもの）を切り替えることが可能となる。</p> <p>⇒15分以上の動画をアップロード可能とするためには認証が必要であるが、スマートフォンではなく学校の電話番号を使用することも可能（2回/年）</p> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">  </div> </div> <p>(2) 動画の作成は原稿等を作成することなく、実際の操作をしながら従来の紙ベースのマニュアルを説明することを意識した。</p> <p>(3) 動画の公開設定は「非公開（県統一ドメイン内のみ公開）」と「限定公開（リンクを知っている全員に公開）」を使い分けている。再生リストは作成していない。</p> <p>⇒再生リストを作成した場合、リスト自体が公開となるため限定公開の動画も公開設定と同様になってしまうため。</p> <p>(4) 公開されている動画は校内で使用している校務の電子化ツールのマニュアルや1人1台端末活用の校内向けマニュアル、実践事例報告も動画で公開している。ま</p>			

た校内研修では集合研修を実習（体験）中心として、操作方法や説明部分は動画によるオンデマンド配信とすることにより受講者の負担軽減を図り、その動画がアーカイブされることで、学校の資産として残すことができるようにした。

(5) 令和3（2021）年12月現在、9テーマ19本の動画を作成し、アップロードしている。

(6) 校内には動画編集用PCを2台導入し、編集等が必要な場合にも対応可能としている。

[今後の展開]

当初は Chromebook による授業動画の作成の敷居を下げるために、操作画面の録画をしながらナレーションを入れただけの動画を公開していた

が、現在は動画編集ソフトを活用して文字テロップを挿入したり画面上の注目すべき部分に枠を挿入したりすることによってよりわかりやすい動画の作成に取り組んでいる。このような動画を公開することにより、今後拡大していくと思われる授業動画作成のノウハウやヒントを得ることも可能となる。

また、学校祭の動画を校内で共有することにより、係分担で学校祭に参加できなかった教員も学校祭の様子を見ることができるようになることで帰属意識の向上にも努めている。

今後は増えてきた動画を Google サイトやドキュメントを活用してまとめ、新任者研修にも活用できるようにしていきたい。



参考となる HP 等